

B I A研究会の活動

2009年4月21日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)

B I A研究会

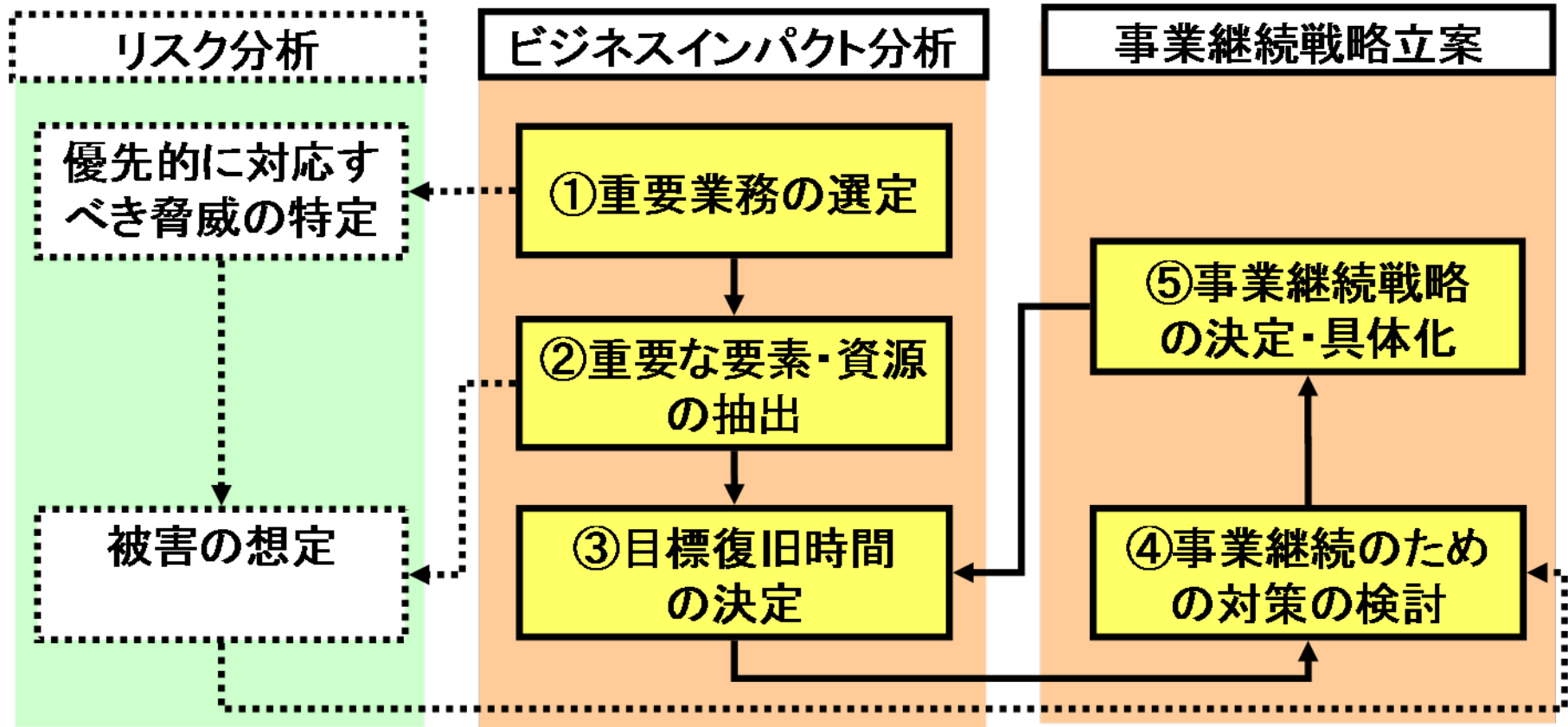
※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

活動状況

- ◆研究会：月1回開催（9月～）
- ◆アクティブメンバー：約15名
- ◆座長：木根原 副座長：前田

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

BIA、事業継続戦略の検討フロー例



資料：BIA分科会（2008/05）

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。

B I Aの試行

- ◆ 対象：アミューズメント施設（仮想）
- ◆ 試行体制：3つのグループ
- ◆ 検討項目
 - ①現状認識と方針決定〔1月済み〕
 - ②重要業務の明確化〔1月済み〕
 - ③重要な要素・資源の把握〔2月済み〕
 - ④リスク分析〔3月一部済み〕
 - ⑤中断時の影響の時系列分析
 - ⑥重要業務の目標復旧時間の決定

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

BIAの試行

ビジネスインパクト研究会 BIA試行シート(2009.01.23)

チーム名	
------	--

作業上の留意点	
---------	--

(1)現状認識と方針決定

①事業継続の方針(災害時に何を守るか?/チャンスとするか?)

--

②BIA試行対象とする事業(全てでも/一部でも可)

事業	対象に○	選んだ理由
野球場 (プロ野球)		
野球場 (他スポーツ)		
野球場 (各種イベント)		
温浴施設		
遊園地		
飲食施設		

③BIA試行対象とする脅威(特定しても/しなくても可)

--

(2)重要業務の明確化

①重要業務を抽出する指標(経営上何を重視するか? 全項目の指標を掲げる必要はありません。)

区分	K圏にとっての具体内容	事業中断したり、 履行できない場合の影響	優先度 ◎/○/△
顧客			
市場			
関係機関			
従業員等			
財務			
法令順守			
社会信用			
社会責任 (CSR)			
地域貢献			
環境汚染			
その他			

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

特定非営利活動法人
事業継続推進機構
BIA研究会

A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)